

平成 29 年 10 月 13 日

航空局航空ネットワーク企画課

広島空港の運営委託に係るマーケットサウンディングの開始

～中四国地方の拠点空港としてのさらなる活性化に向けて～

国土交通省は、広島空港の運営委託に向けた手続きを進め、空港機能の強化やネットワークの拡充、空港アクセスの強化、より一層の官民連携を図ることで、地域の持続的な発展を図ります。

今般、広島空港の運営委託に向けた具体的な手続きの第一歩として、現時点における国の制度設計案（基本スキーム案）を示し、幅広く民間事業者の意見を募集するマーケットサウンディング（民間投資意向調査）を実施します。

1. 意見を募集する「基本スキーム案」の概要

- ・ 事業期間：30 年間（不可抗力等による延長含め最長 35 年間）
- ・ 事業方式：公募により運営権者を選定
運営権者は、滑走路等の運営とターミナルビル等の運営を一体的に実施

2. 今後のスケジュール（予定）

- ・ 平成 29 年 11 月 30 日 意見募集期限
- ・ 平成 30 年 10 月頃 実施方針の策定・公表
- ・ 平成 31 年 2 月頃 募集要項の策定・公表
- ・ 平成 32 年 5 月頃 優先交渉権者の選定
- ・ 平成 33 年 4 月頃 空港運営事業開始

（基本スキーム案等掲載 URL）

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk5_000040.html

【問い合わせ先】

航空局航空ネットワーク企画課空港経営改革推進室 安井、永澤、田村

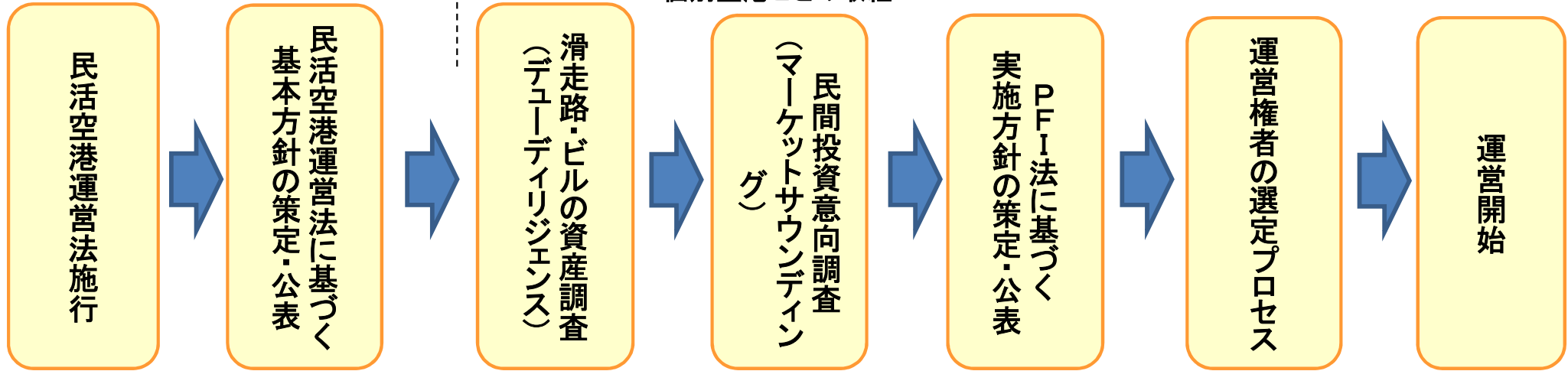
連絡先：03-5253-8111（内線 49-190、49-125、49-128）

03-5253-8714/03-5253-8715（直通）

03-5253-1658（FAX）

空港運営の民間委託に関する検討状況

【全体スケジュール(予定)】



個別空港ごとの取組

	民活空港運営法に基づく基本方針の策定・公表	滑走路・ビルの資産調査(デューデリジエンス)	民間投資意向調査(マーケットサウンディング)	PFI法に基づく実施方針の策定・公表	運営権者の選定プロセス	運営開始
仙台空港	H25	H25.11~ 参加企業数 71社	H26.4	H26.6~	H28.7~ 仙台国際空港株式会社による運営開始	
高松空港	~H26	H27.10~ 参加企業数 93社	H28.7	H28.9~ H29.7.26 優先交渉権者として三菱地所・大成建設・パシコグループを選定	H30.4~	
福岡空港	~H27	H28.7~ 参加企業数 104社	H29.3	H29.5~ H29.9.15 第一次審査 3者選定	H31.4~	
北海道内7空港	~H28	H29.7~ 参加企業数 110社	H29	H30	H32~	
熊本空港	H29.4~	H29.6~ 参加企業数 82社	H29	H30	H32~	
広島空港	H29.4~	H29.10~	H30	H31	H33~	

※関西・伊丹空港(H28.4)、但馬空港(H27.1)では、運営の民間委託を開始

※神戸空港においては、H29.7に優先交渉権者を選定し、H30.4より運営の民間委託を開始予定

※静岡空港においても、手続き中

広島空港の概要

現 況

種 別 : 国管理空港
設置管理者 : 国土交通大臣
場 所 : 広島県三原市
滑 走 路 : 3,000m
旅客実績 : (国内) 257 万人
(平成 28 年度実績値)
(国際) 28 万人

貨物取扱量 : (国内) 18,177 トン
(平成 28 年度実績値)
(国際) 289 トン

主要路線 : (国内) 25 往復/日
新千歳(2)、仙台(2)、東京(17)、成田(3)、那覇(1)
(国際) 39 往復/週
ソウル(5)、台北(7)、上海(7)、大連(5)、香港(3)
北京(5)、成都(7)



沿 革

昭和 36 年 旧広島空港供用開始 (滑走路 1,200m)
昭和 47 年 滑走路延長 (1,800m)
平成 5 年 新広島空港供用開始 (滑走路 2,500m)
旅客ターミナルビル供用開始、旧広島空港供用廃止
平成 6 年 広島空港へ名称変更
平成 13 年 滑走路延長 (3,000m)
平成 20 年 ILS CAT-III 供用開始

平成 29 年度予算

事業費 : 8.9 億円

用地造成、滑走路改良、無線施設整備等

